

2023年春公開映画「仕掛人・藤枝梅安」

片岡愛之助が相棒“彦次郎”に決定！

「時代劇専門チャンネル」を運営する日本映画放送株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 石原隆）は、本日1月3日、映画『仕掛人・藤枝梅安』（第一作・第二作）に豊川悦司扮する藤枝梅安の相棒として登場する彦次郎役を発表いたしました。

新たな『仕掛人・藤枝梅安』の彦次郎を演じるのは、歌舞伎の今を担う一人として飛躍と奮闘を続ける花形歌舞伎俳優、**片岡愛之助**。その端正な面差しと爽やかな口跡、明朗な個性と、旺盛なサービス精神、伝統を継承しながら新作にも次々取り組むことで、歌舞伎の可能性を押し広げています。さらに、テレビドラマや映画など映像でも活躍しています。

本作の原作者は、2023年に生誕100年を迎える時代小説家・池波正太郎。『仕掛人・藤枝梅安』は、『鬼平犯科帳』『剣客商売』と並んで池波の“三大シリーズ”に数えられる傑作長篇で、発行部数600万部を超える時代小説の金字塔として、長年にわたって多くの読者に支持されてきました。『仕掛人・藤枝梅安』は、江戸の闇の世界をテーマに、人の命を救う「鍼医」と、殺しを請け負う「仕掛人」という二つの顔を持つ藤枝梅安の活躍を描いたハードボイルド作品です。昨年の春に行われた製作発表記者会見では、藤枝梅安に扮する主演・豊川悦司が発表されていました。

片岡愛之助扮する彦次郎は、表の顔は楊枝づくりの職人として暮らしながら、裏では吹矢を得意とする凄腕の仕掛人。かつては百姓として暮らしていたが、あることをきっかけに妻と子供を亡くし、仕掛人稼業に足を踏み入れることになる悲しい過去を持った男です。梅安と仕掛けを共にすることも多く、梅安にとって心を許せる数少ない人物です。

梅安と彦次郎。時代劇に残る名バディを、豊川悦司と片岡愛之助が一体どのように魅せてくれるのか。

新たな「梅安」は2023年春第一作、第二作を連続して公開予定。続報にご期待ください。

彦次郎役：片岡愛之助コメント



主演の藤枝梅安役を豊川さんが演じられるということは存じ上げていたので、出演のお話をいただいたときは、ご一緒させていただけるんだと、とにかく嬉しかったです。何をおいても、絶対にこのお仕事をさせていただきたいと思いました。

梅安と彦次郎は、表では普通の生活を営みながら、裏では仕掛人として裏の世界に通じていて、色々なものをその身に背負いながら立ち向かっています。

二人はそれぞれに悲しい過去を持っていて、常にどこか一本の糸でつながっているような、どこか信頼感のようなものでつながっている二人だと思います。これまでの彦次郎は、梅安より年上の方が演じられることが多かったのですが、私は豊川さんより年下なので、どんな組み合わせ、そしてどんなバディになれるのか、私自身期待しております。

撮影はこれから3か月という長期にわたりますが、非常に楽しみです。どんな空間でどんな毎日が送れるのか。歌舞伎役者としての私が生まれた京都という地で、私が大好きな時代劇ができるということが本当に嬉しい。とてもワクワクしています。公開は少し先ですが、皆様も是非、ご期待ください。

★新たな彦次郎、片岡愛之助スペシャルインタビューを時代劇専門チャンネル公式YouTubeにて期間限定で配信中。アクセスしてご覧ください。



原作 池波正太郎 いけなみ・しょうたろう

時代小説家、劇作家。1923年生まれ、東京都出身。戦後、都の職員を務める傍ら、劇作家としても活動していたが、やがて小説の執筆も始め、大衆雑誌で作品を発表。初期には現代物の作品が多かったが、直木賞候補にも上った『恩田木工（後に『真田騒動』と改題）』からは、時代小説が執筆活動の中心に。'60年『錯乱』で第43回直木賞を受賞。以降、『鬼平犯科帳』『剣客商売』『仕掛人・藤枝梅安』の3大シリーズ、長篇『真田太平記』などを世に送り出して人気を博す一方、食通・映画評論家としても著名であった。'77年、その精力的な作家活動が評価され吉川英治文学賞を受賞。'88年、菊池寛賞を受賞。'90年、急性白血病により永眠。連載中の『仕掛人・藤枝梅安 梅安冬時雨』と『鬼平犯科帳 誘拐』は同年4月号分で未完となった。

映画「仕掛人・藤枝梅安」作品情報

■制作概要

原作：池波正太郎『仕掛人・藤枝梅安』（講談社文庫刊）

出演：豊川悦司／片岡愛之助

監督：河毛俊作

脚本：大森寿美男

エグゼクティブ・プロデューサー：宮川朋之（時代劇専門チャンネル）

プロデューサー：吉條英希（時代劇専門チャンネル） 田倉拓紀（時代劇専門チャンネル） 芦田淳也（東映撮影所）

公開：第一作・第二作ともに2023年春予定

公式サイト：<https://www.jidaigeki.com/onihei-baian/>

■時代劇専門チャンネルについて <https://www.jidaigeki.com/>

日本映画放送株式会社（本社：東京都千代田区）が運営する、24時間365日時代劇だけを放送する有料放送チャンネル。視聴方法はスカパー！/J:COM/ひかりTV/ケーブルTV 視聴可能世帯数 約800万世帯(2021年6月末現在)